



第3回日本の学生が選ぶゴンクール賞

2024年3月27日受賞作発表式

後援：アカデミー・ゴンクールおよび在日フランス大使館

「日本の学生が選ぶゴンクール賞」は、フランスで最も名高い文学賞であるゴンクール賞の予備選考リストに基づき、日本の学生が独自に選ぶ文学賞です。同様の試みは世界の30カ国以上で開催されており、日本では2022年から開始。大学教員の支援のもと、フランス語を学ぶ約60名の大学生と高校生が、5つの地域（北海道・東北、関東、中部、関西、西日本）に分かれて参加します。約半年間、フランスのゴンクール審査員が選んだ8作品（*）の内4作をフランス語で読み、定期的に会合を開き討議し、受賞作を選考します。

本日（2024年3月27日）午前、東京日仏学院で行われた5地域の学生代表10名による最終選考を経て、「日本の学生が選ぶゴンクール賞」の授賞作品が決定いたしました。

発表式は、フランス大使公邸で、駐日フランス大使および後見人作家臨席のもとで行われます。今年度の後見人は、フランス側は昨年受賞者であるクロエ・コルマン氏、日本側は朝吹真理子氏。

第1回、第2回の後見人作家

マリー・ンディアイ
小野正嗣
(2021-2022)

クララ・デュポン=モノ
平野啓一郎
(2022-2023)

2023年11月から学生審査員が読んだ4作品



第1回から学生たちが読んだ作品で邦訳された小説と邦訳される予定の作品



『うけいれるには』（第1回受賞作）、クララ・デュポン=モノ、松本百合子訳、早川書房、2023年

『人類の深奥に秘められた記憶』、モアメド・ムブガル・サール、野崎歆訳、集英社、2023年

『ポストカード』、アンヌ・ベレスト、田中裕子訳、早川書房、2023年

『クリスティーヌ』、クリスティーヌ・アング、西村亜子訳、アストラハウス、2024年



『姉妹のように』（第2回受賞作）、クロエ・コルマン、岩津航訳、早川書房、2024年

『クレムリンの魔術師』、ジュリアーノ・ダ・エンポリ、林昌宏訳、白水社、2022年

『エタンブの預言者』、アベル・カンタン、中村佳子訳、角川書店、2023年

Vivre vite, Brigitte Giraud, 早川書房

La petite menteuse, Pascale Robert-Diard, 早川書房

Veiller sur elle, Jean-Baptiste Andrea, 早川書房

Humus, Gaspard Koenig, 早川書房

Triste tigre, Neige Sinno, 新潮社



「学生選考員たちが [.....] 今の読者にどういう意味をもっているのかという点をきちんと評価し、選考したことに感銘を受けた」

朝日新聞、平野啓一郎談

組織委員会

澤田直（立教大学）、コリーヌ・カンタン（フランス著作権事務所）、ミカエル・フェリエ（中央大学）、
アンスティチュ・フランセ

運営委員および地区委員長（＊）

安達孝信（名城大学）、石井咲（和光国際高校）、井上櫻子（慶應大学）、岩津航（金沢大学）、小川美登里（筑波大学）、
小黒昌文（早稲田大学）、笠間直穂子（國學院大学）、加藤靖恵＊（名古屋大学）、木内堯（名古屋外国語大学）、久保昭博
（関西学院大学）、國枝孝弘（慶應大学）、倉方健作＊（九州大学）、齋藤山人（日本大学）、佐々木匠（早稲田大学）、篠原
学＊（大阪大学）、陣野俊史（立教大学）、杉原賢彦（目白大学）、鈴木雅生（学習院大学）、中野芳彦（慶應大学）、中畑
寛之（神戸大学）、野崎歆（放送大学）、長谷川暁人（岐阜大学）、平光文乃（大阪大学）、深井陽介＊（東北大学）、福田
美雪（青山学院大学）、星苙守之（東京大学）、村石麻子（福岡大学）、宮川朗子（広島大学）、山上浩嗣（大阪大学）、Eric
Avocat（大阪大学）、Marie-Noëlle Beauvieux（明治学院大学）、Chloé Bellec（東北大学）、Vincent Brancourt（慶應大
学）、Justine le Floch（京都大学）、Jacques Lévy（明治学院大学）、Olivier Sécardin（広島大学）、Chloé Viatte（順天堂大
学）

公式サイト



Liberté
Créativité
Diversité

公益財団法人 日仏文化交流協会



PERROTIN



FRANCE TOSHO
フランス図書

